

令和元年度東海村健康づくり推進協議会会議録

1	開催日時	令和元年11月25日(月) 13時30分から14時20分まで
2	場所	東海村保健センター 検診ホール
3	出席者	【委員】尾形孝委員, 橋本和彦委員, 東原裕治委員, 薄井尊信委員, 埜真也委員, 佐藤栄子委員, 福地さか江委員, 高崎あす美委員, 宮島榮子委員, 佐藤佳代子委員 【代理出席】ひたちなか保健所・鷲尾重治次長(牛尾光宏委員の代理) 【事務局】飯村福祉部長, 古川健康増進課長, 千葉健康増進課長補佐, 平野係長, 佐藤係長, 北崎係長, 竹内係長
4	欠席者	伊藤勝夫委員, 澤井正雄委員
5	公開又は非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	1. 平成30年度の事業実績報告 2. 令和元年度事業概要及び新規・重点等事業説明
8	配布資料	資料1(資料1-1-1~1-4-2) 平成30年度事業実績 資料2 令和元年度事業概要 資料3 新規・重点等事業一覧
9	発言内容	議題1. 平成30年度事業実績について, 資料1に基づき事務局より説明を行った。説明要旨は以下のとおり。 母子保健事業(資料1-1-1・1-1-2) ・事業実績は全体的に出生数の減少に伴い実績減の傾向。 ・②ハローベビースクールは妊婦・両親学級。対象者は妊娠届け出による母子健康手帳交付者となり, 平成29年度339人から平成30年度276人となり, 約18.5%の減少率。一方参加率は上昇した。 ・⑱産前・産後ヘルプサポート事業は, 平成27年度に開始し, 年々利用者が微増している。近年の晩婚化・晩産化により妊産婦の実家での支援が得られない方が増えていることから, 今後もニーズが高まる可能性あり。 ・⑳産後ママ安心ケア事業も利用者が増加している。 ・公的支援の必要な妊産婦が増えている状況から, ⑲とうかい版ネウボラ推進事業で専門職による妊婦の全数面接を実施し, さらに㉑妊婦電話相談事業により出産直前の妊婦への全数フォローなど, 妊娠期から個別かつ丁寧な支援を展開していることで, ⑪乳児健診や⑬1歳6か月児健診の受診率が向上する等, 母子保健事業全体への波及効果がみられる。今後も⑲とうかい版ネウボラ推進事業については, 継続実施し, 出生数の維持に努めたい。 予防接種事業(資料1-2)

・予防接種事業は、予防接種法に基づく定期接種と定期外接種の2種類に区分。

・定期予防接種は、⑤から⑦の予防接種となる。

・定期外予防接種は、①から④の予防接種となり、村独自の助成事業を実施。

・いずれの予防接種も那珂医師会及び県医師会の協力により、個別接種方式で広域的に実施。

検診事業（資料1-3）

・受診率は横ばい。対象年齢に比しての受診率と申込に対しての受診率を各自掲載。

・健康増進法に規定される肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がんの受診率は茨城県内市町村との比較では高い水準を維持しているものの、厚生労働省の目指す受診率50%を目標に、今後も住民が受診しやすい体制を構築していく。

・平成29年度から受診率向上のために、③大腸がん⑥子宮がん⑦乳がんについて、初めて検診の対象となる年齢区分の方に、申込みの有無に関わらず、受診券を送付し勧奨を強化しており、受診者が増えている。

・⑥子宮がん検診⑦乳がん検診は、医療機関での個別検診を希望する方が多い。引き続きご協力をお願いする。

健康増進事業（資料1-4-1・1-4-2）

・健康教育事業は、①～③、⑥～⑨まで、年齢や性別、目標別の講座を実施、参加者が増加傾向。

・④みんなですこやかウォーキングは、健康づくり推進委員会委員の協力により、村内6ヶ所のコミセン全を発着としたヘルスロードを巡回開催し、都度ヘルスロードマップを印刷、配布している。年間6回を予定したが、雨天中止により5回開催となった。平均参加者数は72名となっており、人気のある事業。

・⑫とうかい健康ポイント事業は、平成27年度から開始し、検診受診や健康づくり活動の実績に対しポイントを付与し、100ポイント以上集めて応募した方に記念品を授与し、自主的な健康づくり活動継続への動機づけを図る事業。平成30年度は過去最多の253名が参加した。令和元年度から、茨城県の事業とタイアップして継続している。

・⑯特定健康診査、⑰特定保健指導は、国民健康保険加入者を対象とした事業。特定健診の受診率は、県内1位となった。この理由として、従来実施している集団がん検診と同時受診できることや村内医療機関のご協力により個別検診を実施し、利便性を図っていることに加え、未受診者への再勧奨通知を実施したことなどがある。

・⑰特定保健指導は、メタボリックシンドロームの要指導者に対し、保健師・管理栄養士の面談等による保健指導を実施する事業。平成3

	<p>0年度から、検診受診当日に初回の面談を実施したところ、前年比18%増の結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑩ヘルスマイトジュニア事業は、食生活改善推進員連絡協議会のご協力により、小学生親子を対象とした食育教室で、大変人気のある事業。開始後3年目の平成30年度は、開始した平成28年度の約2倍の方に参加していただいた。一定講座に参加した子どもは⑨ヘルスマイトジュニアとして認定し、食育を実践する子どもが増えてきている状況。 ・⑳休日診療事業は村内医療機関の御協力により輪番制で実施し、年間2,000人前後が利用している。 <p>【質疑・意見】 特になし。</p> <p>議題2. 令和元年度事業概要及び新規・重点等事業について、資料2及び資料3に基づき事務局より説明を行った。説明要旨は以下のとおり。</p> <p>令和元年度事業については、平成30年度と同様の事業を引き続き実施する。令和元年度新規・重点等事業については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「子育てアプリサービスの提供」(拡充) 2. 「骨髄ドナー費用助成事業」(新規) 3. 「成人男性風しん抗体価検査、風しん予防接種」(新規) <ul style="list-style-type: none"> ・直近の実績として、10月末現在の抗体価検査受検者623人、うち抗体価のない者177人、予防接種者111人となり、接種率は62.7となった。引き続き啓発普及を進めていく。 4. 甲状腺経過観察者医療機関検診費用助成事業(新規) <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日現在で、費用助成申請者が161人。結果の内訳は、医療機関での経過観察者14人、他院への紹介者2名、異常なし者145名となっている。 5. 「とうかい健康ポイント事業2019」(拡充) <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県が提供する健康ポイントアプリとの連携・周知を図る。 <p>【質疑・意見】 特になし。</p> <p>掲載 議事終了 閉会</p>
10 結 果	議題1及び議題2について出席委員了承。